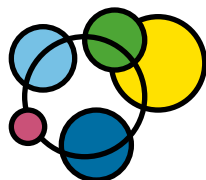


そわにえ
Soigner



第38号

「Soigner (ソワニエ)」とは、「世話をする・手当てする」という意味のフランス語です。

2020年1月30日発行

発行／一般社団法人 東京都訪問看護ステーション協会
〒160-0023 東京都新宿区西新宿四丁目2番19号
東京都看護協会会館 6階
TEL:03-5843-5930 / FAX:03-5843-5932
info@tokyohoukan-st.jp
http://www.tokyohoukan-st.jp

INDEX／	第9回 日本在宅看護学会
ぼん・くらーじゅ ……………	① 学術集会に参加して …… ⑥
ブロック活動から	訪問看護キャリアラダー研修
地区支部活動へ ……………	② ～実践編～ …………… ⑦
ステーション紹介 ……………	④ 編集後記他 …………… ⑧



新国立競技場



災害時に訪問看護師さんに期待する事

東京都医師会救急委員会
災害医療研修部会長

大桃 丈知

阪神淡路大震災の苦い経験を踏まえて災害拠点病院が創設され、日本DMATが発足して本邦の災害医療体制が整備されてきました。その後、東日本大震災が起こり、災害拠点病院を中心に日本DMATは大活躍しました。この時、日本医師会が組織したJMATが初出動し、DMATの後を引き継いで避難所の巡回診療などに従事しました。

東京都医師会は「災害時は総力戦」を合言葉に東京JMAT研修会を開催しています。災害を乗り越えるには、医師だけでは不可能であり、看護師さんや薬剤師さんとのチーム医療が求められます。東京JMAT研修会は、医師に限らず保健医療行政の担当者を含めてどなたでも受講可能です。毎回70名前後の参加者のうち、医師よりも看護師さんや他職種の方々に多くご参加いただき、二次保健医療圏ごとや地域ごとに10名程度でテーブルを囲んで実習形式で進める研修会です。研修会を通じて真に災害時の他職種連携を学べる場になっています。



葛飾区などでは保健所が区内在住や在勤の看護師さんを対象に、災害時に緊急医療救護所で協働することを念頭に看護師登録制度を敷いています。墨田区は全職種を対象に災害時の登録制度を敷いているだけでなく、東京都訪問看護ステーション協会墨田支部が墨田区と災害時の協定を締結しており、より実効性の高い災害時の多職種協働を行う仕組みを構築しています。訪問看護師さんは、看護師としての能力に加えて、誰よりも地域に密着し、精通しており、地域包括ケア特に災害時避難行動要支援者の方々のケアに関しては無くてはならない存在なのです。

Bon Courage
ぼん・くらーじゅ

先に紹介させていただいた東京JMAT研修会は、地区医師会が窓口になり年3回開催しています。ご興味があればぜひご受講いただき、地域の医療従事者間で顔が見える関係を構築し、災害時の多職種連携にお力を発揮することを期待しています。

ブロック活動から地区支部活動へ

「地区支部って何をやるの?」「ブロック会の仲間と一緒に研修できないの?」等々さまざまな声があります。

今年度、これまでのブロック活動を発展的解消し、それぞれの市・区が東京都訪問看護ステーション協会の地区支部として新たな活動の展開ができるようになりました。

今、地域では共生社会の実現に向けて、より地域

に密着したネットワークづくり、行政との連携・協働が求められています。地区支部化されたことで、これまで以上に訪問看護の役割を発信し、行政との連携の機会を作れるようになっていっています。まだ手探りの状況ではありますが、アイデアを出し合い、地区支部独自の活動や二次医療圏合同研修会等、地域の実態に応じた活動を創造していきましょう。

(本町訪問看護ステーション 村崎)

はじめての地区支部合同イベント

三鷹地区支部 野村訪問看護ステーション 家崎 芳恵

多摩地域の例

多摩地域の地区支部の皆さんから「多摩地域全体での研修会」をしたいというご意見がありました。なかなか具体化できずにいたのですが、今回東京都訪問看護教育ステーションとの共催で「訪問看護の世界」という人材確保事業でイベントを開催いたしました。参加した支部は8か所、教育ステーションは4か所でした。

テーマは「病院・地域で考えるACP～人生会議～」地区支部の訪問看護師さんは、シンポジストや相談コーナー、アロマ、受付などを担当しました。準備の合間に実地指導の情報交換などもでき、地区支部単独での活動や全体での活動等いろいろなやり方の可能性も見えてきました。

今度は、二次医療圏の地区支部が集まって勉強会をする予定です。



「訪問看護に携わる
あなたを幸せにしたい」

訪問看護専用電子カルテ「iBow(アイボウ)」

現場視点で業務の効率化を支援。ケアに集中できる環境で、かけがえの無い命と笑顔で向き合って欲しいから訪問看護専用の“かゆいところに手の届く”システム「iBow」。

訪問看護の現場に
電子カルテの新常識

「看る」ことは
「見る」こと

「外」へ行き
「外」で見る

紙よりも安全で
手軽な道具



0120-49-0333

資料請求・無料デモンストレーション

iBow 訪問看護

9:00～22:00(土日祝・18:00～は受付のみ)メールでのお問い合わせ・詳細は「fewellibow.jp」まで



訪問看護師の力を活かして

墨田区福祉保健部高齢者福祉課 會田 光穂

墨田区高齢者福祉課では、東京都訪問看護ステーション協会に二つの事業を委託しています。一つ目は、複数の専門職による支援チームを設置する認知症初期集中支援推進事業です。墨田区では、医療と介護の視点を持ち、本人の力を活かす関わりや家族への支援等に幅広いノウハウを持つ訪問看護師の関与が不可欠と考え、同協会にチームの運営を委託することとしました。そして、医師や地域包括支援センターの認知症地域支援推進員、福祉職の職員とともにチームを組み、それぞれの視点を生かして支援を行うことのできる体制をつくりました。医療につながっていない方に対して、医師の指示書を待たずに早い時期に看護師が関わることができる強みがあり、約半年間の支援を通じて適切な医療、介護サービスにつなげることができています。さらに、近所の方や商店、金融機関等とも連携して、地域で本人を支える協力体制づくりも行っています。

二つ目は多職種連携研修の実施です。医療と介護の双方に関わる同協会に企画、運営等を委託することで、多職種の連携をより深めることができています。令和元年10月19日に「アドバンスケアプランニング（ACP）って何？」をテーマに研修を開催したところ、在宅療養を支える多職種約70名が参加し、講義やワールドカフェを通じて理解を深めました。企画、運営にあたっては訪問看護師ならではの視点が活かされ、温かい雰囲気の中、活発な意見交換が行われました。



多職種連携研修の様子

災害医療救護活動における訪問看護ステーション協会との連携

墨田区福祉保健部保健衛生担当 松本 静
保健計画課保健計画担当

墨田区では、医療連携推進や地域包括ケアシステムの構築等の取組の中で、訪問看護ステーション協会をはじめ、地域の医療・福祉関係者と連携を深めてきました。

平時における顔の見える連携が深まる一方、地域における災害時の保健医療活動の体制づくりの中で、発災直後の現場活動では看護職の存在が重要にもかかわらず、関与できる看護職が非常に少ないことが課題となっていました。

このことが日ごろの連携の中で話題となり、地元医師会の要請も受け、令和元年7月2日、東京都訪問看護ステーション協会と墨田区は「災害時の医療救護活動への協力に関する協定」を締結しました。

災害時における訪問看護師の活動は、担当する患者の安全の確保と、平時からの備えへの支援だと思えますが、今回の協定は、発災からおおむね72時間までに区が設置する「緊急医療救護所」での医療救護活動に加わっていただくというものです。

発災後しばらくすると病院に傷病者が押し寄せることが想定されるため、行政は病院前にトリアージポストを設置し、重症者を病院へ運び、軽症者は行政が設置する医療救護所で治療を行います。この活動には地域の医師会等が当たることになっていますが、墨田区では、訪問看護ステーション協会にも協力を仰ぐことにしました。これは全国的に見ても新しい試みです。

災害時の医療救護活動現場では大変な混乱が生じます。医療従事者は目の前の傷病者に全力で向き合いますが、その「人」の声を聴き、短い時間であっても気持ちに寄り添ったケアができるのは看護師です。不安を抱えた傷病者を機械的に処置するだけでなく、後につながるケアを提供することが可能になりました。

指定訪問看護ステーション あきる台ケアサービス

Vol.
55

訪 問 看 護

ダ ー ツ の

当ステーションは、東京都の西側に位置する「あきる野市」というところにあります。あきる野市は、奥多摩の山々が間近に迫り、秋川渓谷や温泉施設など観光スポットが多く存在する自然豊かな町ですが、一方大型ショッピングモールやスーパーなども完備された住みやすい環境の地域でもあります。

この地域での活動で苦勞することは、冬場の気温が都心部に比べ5～6度低いことから、日常の訪問においても体が冷え切ってしまうことです。特に入浴介助などの水場の仕事ではとてもつらいものがあります。

また、訪問先の移動距離が長い（事業所から10キロ以上のところもある）車両利用が必須です。そのため、先ず車の運転に慣れることからスタートしなければなりません（これで苦勞する看護師もいる）。

しかし、未だに多くの畑が残るこの地域では、訪問先で「これ持って帰って～」と声を掛けられ、自作の野菜などをすすめられることもあり、田舎へ帰ったような雰囲気があります。訪問先で「来てくれると安心・うれしい・来てもらってよかった・次来るのが待ち遠しい」などの言葉が聞かれたとき、いろいろと大変なことはありますが、ご利用者のためになったのかなと感じ、この仕事をやっていてよかったと思う瞬間です。

市内を流れる秋川渓谷



都立秋留台公園



道路すぐ横の畑と山々



夏はトウモロコシがたくさん



あきる野市役所



スタッフ一同



あきる野市概要

人口：86,686人 世帯数：85,760世帯
市の南側に秋川、北側に平井川が流れ、西側には奥多摩の山々と隣接している。

【みどころ】 秋川渓谷、瀬音の湯、あきる野三大祭り、秋川歌舞伎 など

【特産品】 のらぼう、トウモロコシ など

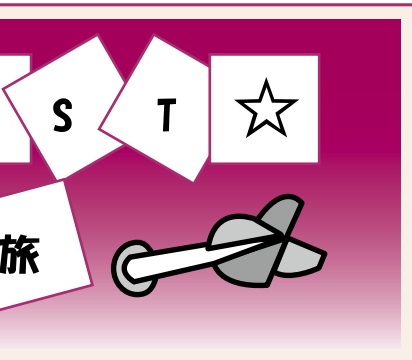
事業所紹介

看護師10名（常勤、非常勤含む）
リハビリスタッフ14名（兼任）、事務2名
登録利用者数142名 訪問数809件（9月末）
【法人内事業所】 病院（入院・外来・訪問診療）・クリニック・居宅支援事業所・訪問介護・デイケア・認知症グループホーム・地域包括支援センター

医療法人財団 暁
指定訪問看護ステーションあきる台ケアサービス

所長 栗原 枝利子

〒197-0804 東京都あきる野市秋川16-5-1
TEL:042-550-6103 FAX:042-559-0778
http://www.akirudai-hp.or.jp/houmon_kango/index.html



Vol. 56

濟生会三田訪問看護 ステーション



こんにちは、濟生会三田訪問看護ステーションです。
 「濟生会」は、どなたでも分け隔てなく医療・福祉が受けられるよう、先駆的に訪問看護事業を行った歴史をもっています。その伝統は、歴代の諸先輩方によって受け継がれています。
当ステーションは、平成9年の開設時、港区で2番目、東京都では126番目のステーションとして開所しました。現在は、濟生会中央病院の北棟7階に事務所があり、東京都濟生会支部の訪問看護ステーションとして、独立して営業しています。

ステーションのある港区は、高層マンションのほか、東京タワー・大使館など歴史的な建造物が多い地域です。坂道も多い街並みの中、四季折々の変化を体感しながら、電動自転車に乗ってご家庭を訪問しています。スタッフは、看護師6名、理学療法士2名、ケアマネジャー1名、事務員1名の体制です。経験豊かで、訪問看護、訪問リハビリが大好きなスタッフです。ご利用者様一人ひとりのことを大切に考えてケアしています。

濟生会中央病院をはじめ、地域の病院、医院、往診医より指示書をいただき訪問しています。地域の医師や歯科医師、薬剤師、訪問看護師との連携、ケアマネジャー、高齢者相談センター（地域包括支援センター）、行政、さまざまな

医療、福祉の関係機関と連携をとり、「地域包括ケアシステム」の一員として訪問看護から積極的に働きかけを行い、ご利用者様に安心して住み慣れた地域での生活ができるように最大限に活動しております。

ご利用者のご病状により、病院内の皮膚・排泄ケア認定看護師、管理栄養士などとも連携し、ケアに生かしています。医療の進歩に伴い、新しい情報も学習・研修を行い、質の高いケアを提供できるよう自己研鑽をしています。

「笑顔・誠実・質の高い看護」を実践し、訪問看護をとおしてより多くの方のケアをしていきます。これからもよろしくお願いいたします。



スタッフ



外観



濟生会三田訪問看護

理念

「濟生の精神」に基づいた思いやりのある保健・医療・福祉サービスの提供を通じて社会に貢献すると同時に、ご利用者様とご家族の意思を尊重した看護を提供し、在宅で安心した療養生活を送れるよう支援いたします。

（「濟生の精神」とは、分け隔てなくあらゆる人々に医療・福祉の手を差しのべることです）

基本方針

1. 医療機関、福祉施設、介護事業所等と連携を密にし、地域での役割を果たします。
2. 個人の権利を尊重し、相互信頼に基づいた質の高い看護を提供します。
3. 保健・医療・福祉に恵まれない人々への支援に誠実に取り組みます。
4. 看護学生の教育と在宅看護学の発展に貢献します。
5. 職員が働きがいとプライドを持って、自己研鑽に努めます。



社会福祉法人 恩賜財団 濟生会支部東京都濟生会

濟生会三田訪問看護ステーション

あくつ 所長 坏 むつみ

〒108-0073 東京都港区三田1-4-17
 TEL: 03-3451-8939 FAX: 03-3451-8703
 URL: <https://www.saichu.jp/introduction/visiting-nursing/about/>

第9回 日本在宅看護学会学術集会に参加して

12月7、8日、第9回日本在宅看護学会「在宅看護でつなぐ共生社会～あなたもわたしもできること～」が開催されました。

会場は、今年の4月に移転した東京都看護協会。佐野けさ美氏と椎名美恵子氏の学術集会長講演は、最大400名収容の大研修室に立ち見の方がいるほど盛況でした。佐野氏は、訪問看護の内容をデータ化する研究を進めていること、椎名氏は東京都訪問看護ステーション協会の様々な取り組みについて講演されました。

その後は、交流集会やパネルディスカッション、口演、示説が行われました。訪問看護の見える化や、質の評価、地域共生社会をテーマにしたセッションが目立ちました。都民公開講座は、元パラリンピック競泳選手の成田真由美氏の講演がありました。

8日に開催された「訪問看護の質の評価～訪問看護実践と成果をいかに可視化するか」に関するパネルディスカッションでは、たくさんの方々が集まり、熱い質疑応答が交わっていました。その中で、演者・座長の柏木聖代氏は、「病院においても、現状このような看護の質の評価は行われていない」との説明がありました。

学会前日の6日に横浜で行われた看護サミットは、訪問看護サミットと同時開催となり、ほとんど訪問看護

に関する内容でした。訪問看護に従事する看護師はまだ数としては少ないのですが、看護界にとっては無くてはならない存在であり、むしろ看護界をリードする役割を担っているのかもしれない！と感じました。

(なごみ訪問看護ステーション 葉山)



パネルディスカッション「様々なコミュニティと共生社会」



示説「訪問看護の可視化」



示説「退院支援、他職種連携」



パネルディスカッション「訪問看護の質評価」

経腸栄養剤(経口・経管両用)

薬価基準収載

イノラス® 配合経腸用液

ENORAS® Liquid for Enteral Use

◇効能・効果、用法・用量、禁忌を含む使用上の注意等は、製品添付文書をご参照ください。



ヨーグルトフレーバー



りんごフレーバー

187.5mLパウチ



イーエヌ大塚製薬



販売提携
大塚製薬株式会社
東京都千代田区神田司町2-9

販売提携
株式会社大塚製薬工場
徳島県鳴門市撫養町立岩字芥原115

資料請求先
株式会社大塚製薬工場 輸液DIセンター
〒101-0048 東京都千代田区神田司町2-2

<'19.06作成>

訪問看護キャリアラダー研修 ～実践編～

2019年10月5日、東京都訪問看護ステーション協会で作成した「東京都訪問看護キャリアラダー（以下キャリアラダー）」の冊子をもとに研修が始まりました。

まず、キャリアラダーの基本的な考え方や訪問看護キャリアラダー開発工程について、東京医科歯科大学・柏木聖代先生の講義を受けました。講義の中で、自分のキャリアを組織の中のステップというだけでなく、生涯にわたる仕事に関連した生き方としてとらえること、自分の未来像に向けてキャリアデザインをすること、個人として組織として相互に作用するキャリア開発プログラムの構築が重要であるというお話がありました。

次にキャリアラダーを実際に使ってみました。このキャリアラダーは発達段階として**初心者・新人・独り立ち・一人前・中堅・熟練**という言葉を使い表現しています。訪問看護は看護師として様々な経験を持つ入職者がおり、スタート時点の個人差が大きいことが特徴です。最近では訪問看護未経験で管理者を担うこともあり、管理者＝一人前でもなく中堅でもないといったアンバランスなステーションが存在するのも事実です。そのため全員が**初心者**から評価を始めます。評価に用いる行動目標シートは、「看護実践能力」「組織的役割遂行能力」「自己教育・研究能力」の3項目で構成され、各評価



柏木聖代氏

項目は作成に当たったプロジェクトメンバーの現場の感覚を生かした内容となっていました。さらに「○」か「×」かの二択で、「△」はありません。作成メンバーの方に尋ねたところ、「△をアリにすると△だらけになる人が出てきてしまう。二択にしたのはこのラダーの肝。」だそうです。実際にチェックしてみると、なんとということでしょう……。自分の強み・弱みが浮き彫りになりました。自分では自覚していなかった訪問看護師としてのレベルが可視化され、課題が明確になりました。加えて、モチベーションのアップ、スタッフと管理者のコミュニケーションが捗る、自訪問看護ステーションの強み弱みが見つけやすい等、たくさんのメリットがありました。

このキャリアラダーは、訪問看護をするときに、「自分のキャリアラダーは〇〇です」と日本全国どこでも通用する東京都訪問看護ステーション協会発信のツールとなることが期待されています。（千寿すぎなみ訪問看護ステーション 渡辺）



研修風景



グループワークの様子

よく眠った人には、かなわない。

『桃井かおりの工場見学』
をご覧ください！

東洋羽毛イメージキャラクター 桃井かおりさん

東洋羽毛首都圏販売株式会社

東京営業所
TEL 0120-195804

西東京営業所
TEL 0120-218104

南東京営業所
TEL 0120-559070

9月2日から9月9日、娘の住んでいるカナダに旅行旁々行ってきました。3年ぶりです。



した。孫も大きくなり楽しいひと時を過ごし、念願の夏オーロラを観ることができました。カナダ内を移動中「東京台風直撃」と情報が入り、事業所のスタッフにメールで対応をお願いしました。帰国日は「上陸当日の夕方になるので台風も過ぎているだろう」と高を



括りのんびり機内で映画を観ていました。しかし、成田についても着陸できず、やっと着いたかと思うと荷物も出てこない状態。それでも不思議に思わず日本に帰ると

凄いなあと思った状態！「有名人でも来るのかしら？」なんてのんきに思っていたら、私、成田難民になっていました。ニュースで流れていた成田空港の動画の中に、紛れていたのです。空港は世界中の人があふれ「カオス」状態でした。私は何とかその日のうちに自宅に帰れましたが、多くの人は空港から抜け出せなかったようです。貴重な経験をさせていただきました。

(うさぎ訪問看護ステーション 鈴木)

今年度、東京都訪問看護ステーション協会では、東京都の2035年の超高齢社会や人口減少等を見据え、『訪問看護将来ビジョン検討プロジェクト』を立ち上げて検討しています。ビジョンの中身はまだまだ煮詰まっていませんが、ディスカッションを重ねる中で、少しずつ方向性が見えてきそうな気配……。



それとは別に、看護の専門性や成果をどのように言語化するのか？ということも課題ですね。

訪問看護の現場では、多職種とのかかわりの中で、日々看護の役割について考えながら仕事しているように思います。しかしながら、看護について“言語化”することはちょっと弱いな？と感じる今日この頃です。(なごみ訪問看護ステーション 葉山)

東京都訪問看護ステーション協会は、都内で活動している訪問看護ステーションの訪問看護師たちを支援していきます。ご入会を心よりお待ちしております。

1月1日現在の会員施設数
継続会員:453 新会員:115 合計:568

連絡先

〒160-0023 東京都新宿区西新宿四丁目2番19号
東京都看護協会会館 6階
info@tokyohoukan-st.jp

since 1995

訪問看護ステーション業務ソフトといえば

ライフウェア
lifeware

ライフウェアは簡単操作で高機能！

医療・介護保険 レセプト対応	高齢者・難病・小児・ 精神各制度対応	スマホ・タブレット対応 (iOS/Android)
電子カルテ 機能完備	報告書・ 計画書等文書作成	厚生労働省 統計・集計対応

安心のサポート体制 オンラインヘルプデスク 現地対応操作説明

スマートフォンにも
対応いたしました！



月額利用料(税別)

業務ソフト **12,000円**より

PC1台: **2,000円**

スマホ・タブレット1ユーザ: **2,000円**

※PC2台以上は別途お見積り。

※導入時初期費用が別途かかります。



発売元 **ライフウェア** TEL:03-6457-8798

FAX: 03-6457-8799

東京都新宿区新宿2-15-24成田ビル5F
www.lifeware-net.co.jp

ライフウェア

検索

医療保険請求も介護保険請求も「カイポケ」におまかせ！



自動で
タブレットと
レセプトが連動!!



タブレットが
1台無料!!

看護記録～請求処理まで一気通貫

- 予定の登録・変更
- 看護記録書の作成
- 看護計画書・報告書作成
- カメラ機能・アルバム機能
- 音声入力機能
- 請求エラーのチェック機能
…など

今なら最大18か月無料!!

お問合せ **0120-701-654**

受付時間 9:00～18:00(土日祝除く)

上記がつかない場合:03-4589-0708

株式会社エス・エム・エス

カイポケ

検索